

社内木鶏感想用紙

2024 年 11 月 25 日

11 月号

名前

タイトル: 東井義雄の生き方が教えるもの

①感じたこと(仕事・人生にどう生かすか 等)

東井先生が書かれた“小さい勇気をこそ”は、つい楽な道を選んでしまう人間の弱い処をついたなんとも可愛い詩です。小さい勇気こそ欲しいという言葉は、先月号で道場さんも言われていましたが、いろんなことを後回しにせず小さな勇気を持って事に当たる大切さを感じます。東井先生の教育方針、ひとりしらべ、わけあい、みがきあいの授業は問題意識を持つことであったり自身に降りかかる問題への解決能力の向上に繋がるのではないかと思いました。情報化社会の中、沢山の情報の中から自分に必要な情報を取捨選択し、生き抜いて行く能力を身につける事はこれからとても必要だと思います。その訓練の場所が小学校から出来るのだとすればまさに今後日本が目指そうとしている教育方針なのではないかと思いました。東井先生の言葉に“亀は兎になれないが努力次第で日本一の亀になれる”とあります。私は、亀なのでとてもこの言葉に励まされます。東井先生の唱える教育者の原点に戻り、学校や社会は出来ない子に寄り添い共に底上げが出来るそんな優しい社会になる事を今後願います。

家庭でも職場でも普段から問題意識を持ち今何をすべきかを考え行動していく事が大切だと痛感しました。

②仲間の発表を聞いて気付いた事

社内木鶏感想用紙

2024 年 11 月 25 日

11 月号

名前

タイトル: 東井義雄の生き方が教えるもの

①感じたこと(仕事・人生にどう生かすか 等)

東井先生の生き方を学び、たくさんのことを教えていただきました。

テーマは教育ですが、中でも「良い事は良い、悪い事は悪い、悪の道に

進んではいけないと自分で判断できるようにすること。これは大人になっても

忘れてはいけない大事な言葉だと感じました。

他にも「欲望の僕になるな、欲望の主人公となれ」、言葉通り、物が豊かになると当然

誘惑も多くなります。つい欲望のまま動いているのではないか、自分を見つめなおす

きっかけにもなり背筋がピンとなりました。子どもの頃、当たり前のように教えて

もらったことを忘れてしまう大人になってはいけないと改めて感じました。

東井先生の「いのちの教育」は子供だけではなく大人になった今だからこそ

考えさせられる、そんな特集でもあると思います。

その中でも、最も心に残った言葉が「厳しい現実から目を背けることなく

その環境の中で自身のいのちを輝かせようとする」、厳しさの中にも

自分自身を奮い立たせる素敵で力強い言葉だと感じました。

改めて私自身の生き方について考えようと思いました。

②仲間の発表を聞いて気付いたこと

社内木鶏感想用紙

2024 年 月 日

11 月号

名前

タイトル: いのちの教育の探究者「東井義雄の生き方が教えるもの」

①感じたこと(仕事・人生にどう生かすか 等)

地方の教育者でありながら、全国に名前を知られる東井義雄先生の話が印象に残りました。東井先生が残された言葉に「自分は自分の主人公。世界でただ一人の自分を創る責任者」という言葉があります。これはいかに主体性を立てて人生を歩むことが大事かを子どもたちに教え込んだ東井先生を象徴される言葉のようです。この言葉を知り私も恩師からの言葉を思い出しました。「ワガママではなく”我がまま”に」これは周り目を気にしすぎに自己表現・自己主張を行い、自信と勇気を持ってチャレンジしようというメッセージが込められています。どちらの言葉にも子どもたちの個性や発想力、主体性を伸ばし、子どもたちが自分の長所を認識し、自信を持って生きていくことができるようになってほしいという思いを感じました。5月に第二子が生まれ2人の父になり仕事でも30歳を超え、後輩たちも増えていく中でこの2つの言葉をヒントに自分なりの関わり方、与える影響を改めて考えたいと思いました。

②仲間の発表を聞いて気付いたこと